

会長あいさつ

会長：加藤 奈智子

暑かった夏も終わり紅葉のきれいな季節となりました。
会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと拝察いたします。

2008年10月9日、大きなニュースが飛び込んできました。ノーベル物理学賞に南部陽一郎先生、小林誠先生、益川敏英先生と、化学賞に下村脩先生が授賞決定と報じられました。下村先生は旧長崎医科大学薬学専門部卒とのこと、更に大きな喜びを与えていただきました。

さて、昨年から懸案だった「研究奨励賞」に今年度は3名の応募がありました。それぞれに看護研究の業績を高めて下さることと期待いたします。また、会の象徴としてロゴマークを募集しておりましたが、応募がありませんでしたので、執行部案として旧看護学校で使用していた校章を採用してはいかかがかと提案いたします。総会当日に決めていただきたいと思います。

このニュースレターも発行No.4となりました。歴史を積み重ねることの大切さを感じます。委員の陰ながらの努力に感謝いたします。

総会の最後に、会長、副会長、会計監査、理事等の役員交代についてお願いいたしたいと思っております。ご検討をよろしくお願いいたします。

【旧看護学校 校章】

同窓会会員数(現在)

平成19年度庶務報告・会計報告

総数	3,265名
養成所	330名
厚生女学部	155名
看護学校	1,342名
医療短大	1,201名
保健学科	232名
修士課程	5名

1. 平成20年度同窓会入会者 80名
(医学部保健学科3回生75名、修士課程5名)
 2. 経過報告
 - 1) 同窓会総会 H19. 11. 23
 - 2) 理事会開催 4回
 - 3) 同窓会運営会議とニュースレター作成委員合同会議 1回
 - 4) 慶弔・3月 医学部保健学科卒業式 お祝い生花
・8月 長崎大学原爆慰霊祭にて看護学同窓会より献花(加藤会長)
・物故者へ弔電
 - 5) 看護学研究奨励賞運営
 - 6) ニュースレター発行
- ※会計報告資料は総会当日配布いたしますが、会の発展の為、諸先輩の皆様方、募金へのご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。



卒業生便り

保健学科2回生 米元 栄樹

(勤務先:横浜市立大学付属病院)

長崎での看護学生生活を経て、看護師となりました僕も二年目としての日々を過ごしています。卒業生として、お便りを書いていることが不思議です。横浜の病院で外科病棟に勤務しています。去年はいろんなことを先輩から教えてもらいながら一日が過ぎ、あっという間の一年でした。手術や治療についての不安をもつ患者様と接し、気持ちを感じながら、ひとりひとりに合わせた対応ができるようになりたいと思っています。最近、趣味などでリフレッシュしながら仕事に臨んでいます。そのうちまた長崎に旅行に行きたいと思っています。とても大切な時間を過ごさせてもらった長崎に遊びに行くことは、自分へのご褒美になりそうです。

長崎大学医歯薬学総合研究科保健学専攻

修士課程1回生 高祖 恵

(長崎大学医療技術短期大学部11回生)

私は今年修士課程を終了後、4月から福岡県宗像市にある日本赤十字九州国際看護大学に助手として勤務しています。こちらの大学は2001年に設立された大学で、キャンパス周囲は緑に囲まれ自然豊かなところにあります。

長大の大学院時代には、一つのことについて追及することや、仲間とともに考える楽しさを経験できました。その経験は学生と看護を考えることにとっても役に立っています。今後も教員として学生とともに成長していきたいと考えています。

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻（修士課程）1回生修了

長崎大学大学院医歯薬学研究科保健学専攻（修士課程）は、平成18年4月に開学し、看護学講座には9名が入学しました。本課程は医療の急速な発展に伴い、国民の細かな医療ニーズに対応できるような高度医療専門職の育成を目指しています。課程修了後は修士（看護学）の称号を得ることができます。

2年間課題研究に取り組み、論文審査に合格し、平成20年3月無事全員が修了しました。学生は社会人が多く仕事との両立でしたが、真摯に研究に取り組み、1回生として礎を築いてくれました。（文責：浦田秀子）

平成21年度看護学研究奨励賞の募集について

平成17年度よりスタートしました看護研究奨励賞は、今年で4年目となりました。昨年は応募がなく寂しい報告となりましたが、今年は3題の応募がありいずれも採用となりました。応募者ならびに応募に際してご支援を頂いた方々に感謝申し上げます。今年の総会では、受賞式とともに過去の受賞演題2題の研究発表も予定しています。

<今年度受賞の研究課題>

- ①北関東における日本人母親の母乳育児継続要因に関する研究
（山崎真紀子：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻看護学講座）
- ②助産制度利用者の現状と母子保健上の問題に関する研究
（大石和代：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻看護学講座）
- ③化学療法を継続する壮年期肺癌患者の心理プロセス
（村上香織：長崎大学医学部・歯学部附属病院）

<総会での発表予定演題>

- ①長崎県内在住のキリスト教徒の死生観に関する研究—遺族の悲嘆過程に焦点を当てて—
（野村亜由美：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻看護学講座）
- ②日・韓看護大学生の喫煙の状況と意識の比較
（中尾恵理子：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻看護学講座）

平成21年度も引き続き応募いたしますので、教育も臨床もふるってご応募いただきますようご案内申し上げます。平成21年度の応募期限は平成21年6月30日です。応募要領、申請書などの詳細については下記までお問い合わせ下さい。

（文責：勝野久美子）

問合せ先：勝野久美子（長崎北病院 Tel:095-886-8700 e-mail:kita_k_katsuno@shunkaikai.jp）

ナイチンゲール広場（仮称）のご紹介

長崎大学病院のコリドールに若き日のナイチンゲール像が静かに置かれています。久松シノノ名誉会長から長崎大学病院への素晴らしい贈り物です。私たちはその場所を勝手に「ナイチンゲール広場」と呼んでいます。病院を訪れてくださる方々や職員にとって、ひとしお愛着のある場所になっています。

台座には「フローレンス・ナイチンゲール女史 1820～1910 寄贈久松シノノ 元長崎大学医学部附属病院看護部長 2005年第40回ナイチンゲール記章受章」との文字。ナイチンゲール記章受章に沸き立ったあの時の感動や喜びが甦ってくるようです。白いドレスをまとい、燭台をささげ持ったナイチンゲール女史のお姿は、身長102cmの像でありながら妙に存在感があり、崇高な面持ちでコリドールを行きかう人々を見守って下さっているようにも思えます。蠟燭の灯のあたたかさや明るさに、クリミア戦争で傷ついた兵士はどれほど癒され救われたことでしょうか。200年近い時を超え、そんな思いを彷彿とさせてくれます。

様々な人生を抱えた方々が毎日コリドールを訪れておられます。新しい時代の病院を目の当たりにして、ナイチンゲール女史は一体何を感じていらっしゃるのか問うてみたい気がします。

これから先、看護職員が入れ替わり、時代が変わっていても看護の心は営々と続いていってほしい、その象徴として久松名誉会長からの贈り物を大切に語り継いでいきたいものです。

（文責：田添京子）



募金のお願い

18年度の総会にて同窓会終身会費の値上げが承認され19年度卒業生から5千円を納入して頂きました。既会員の皆様には差額の3千円を募金の形でご協力頂ければ幸甚に存じます。

【振込先】郵便局 記号 17680 番号 22216361

加入者名：看護学同窓会

代表：加藤奈智子

編集後記

ニューズレター発行も今回で4回目となりました。前回募集したロゴマークも執行部より提案させていただきました。現在の学部の前身である旧看護学校の校章と言うことで旧看護学校卒以外の方でもなんとなく愛着感を感じてしまうものではないでしょうか。ご意見、また新たに提案がありましたら是非事務局までご連絡いただきたいと思っております。編集担当：張川恭子（医10）